

## 教育目標

本学の教育は、建学の精神に則り、看護学を専門とし、その領域において指導者となる人材を育成する。

### 看護学部

1. 人間愛に基づき、あらゆる文化背景の人々を理解し、共感を持って接することができる態度を持つ。
2. 自己を見つめ、生涯にわたって自己の人間形成をはかりつつ、自律的に行動する態度を持つ。
3. 事象への関心を深め、幅広く学問を探求し、批判的思考力を持つ。
4. 看護を必要としている個人・家族・地域社会に対して、対象に応じて系統的に看護実践できる基本的知識と技術及び態度を持つ。
5. 看護職の一員としてリーダーシップを発揮し、責務を遂行する能力を持つ。
6. 日本および国際社会における看護の機能と役割を広い視野で多面的にとらえ、保健医療・福祉システムの中で責任を担う姿勢を持つ。
7. 看護の専門職性および看護学の発展に寄与しようとする意欲を持つ。

### 大学院

#### 看護学研究科

博士前期課程（修士課程）は、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学の分野における研究能力または高度の専門性を要する看護の実践および看護教育に携わる者等に必要な高度の能力を養うものとする。博士後期課程は、看護学の分野における研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

#### 公衆衛生学研究科

広い視野に立って精深な学識を授け、公衆衛生上の諸課題に対し、科学的根拠に基づく高度の実践能力を要する専門職業人の養成および、公衆衛生教育に携わる者等に必要な高度の能力を養うものとする。